



9月

ケアラー支援推進月間

～大切な人を介護するあなたも大切なひとりです～

町では令和3年4月に栗山町ケアラー支援条例を制定し、まち全体でケアラー支援の輪を広げる活動を行っています。また、9月21日が世界アルツハイマーデー・認知症の日であることにちなみ、毎年9月1日～30日を「ケアラー支援推進月間」とし、ケアラー支援に対する理解を深めていただくようさまざまなイベントを開催します。

ケアラーに関するイベントのお知らせ

会場 ケアラーズカフェ「サンタの笑顔」

日 時	内 容
9月5日(金) 13:30～14:00	★ミニ講話「食えることと健康づくりの秘訣」
9月6日(土)～12日(金) 10:00～16:00	介護サービス利用者作品展「K-1 ぐらんぷり」
9月13日(土) 10:00～12:00	★動く！笑う！楽しむ！学生カフェ ～北海道介護学校ヘルスケアグループの学生との交流会～
9月17日(水) 13:30～15:00	オレンジカフェとワークセンター栗の木によるパン販売 講話：栗山警察署「特殊詐欺について」
9月25日(木) 10:00～10:30	★ミニ講話「住まいと生活を考えよう！」

※9月中、町図書館と協同で双方に介護関連書籍の紹介コーナーを設置します。お気軽におこしください。
※★のイベントは「健康・元気づくりのためのミニイベント」につき参加者には健康マイレージが付きます。

会場 カルチャープラザ「Eki」

日 時	内 容
9月3日(火) 13:30～15:30	認知症フレンドリー講座(VRを使った認知症当事者体験)
9月30日(火) 14:00～	ケアラー支援講演会 ●演題「お父さん、なぜ線路に入ったのですか？」 ●講師 認知症鉄道事故裁判で遺族 高井 隆一氏  ※詳しくは折込チラシをご覧ください。
10月2日(木) ①10:00～ ②14:00～	「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会 ※詳しくは折込チラシをご覧ください。

【問い合わせ】ケアラー支援推進月間事務局（福祉課内） ☎ 73-2255

缶やペットボトル

つぶ潰して出して構いません

リサイクルセンターに集まる缶・ペットボトルは、ほとんど潰されています。機械でそれらを選別する場合には潰さない方が良いのですが、センターでは、人の手で分けていますので潰して出して構いません。

缶やペットボトルを潰して出すメリットは「体積の削減」による効率化です。

- ①家庭のごみ箱にたくさん入る
(ごみ箱を小さくできる)
- ②指定ごみ袋にたくさんの量が入る
(袋代の節約になる)
- ③運搬にかかるコストの低減やCO2の削減ができる といった効果が期待できます。



キャップとラベルは取り外しましょう！

ペットボトルのキャップとラベルは本体と素材が異なるため必ず取り外し、プラスチック類として青の指定ごみ袋で出しましょう。また、缶の金属キャップは黒の資源袋へお願いします。

スチール缶は潰してもよいけれど・・・

スチール缶は、アルミ缶よりも頑丈で厚みがあるため手軽に潰すことが難しく、無理に力を加えるとケガをする危険性が高まります。そのため、潰さずに出していただいて構いません。

缶やペットボトルは再利用されます

スチール缶もアルミ缶も分別され溶かされて再利用されます。ペットボトルも細かく粉碎され新しいペットボトルやフリースなどの衣類などに生まれ変わります。



再利用する場合の大切なことは、それぞれに異物の混入を防ぐことです。中身を捨て、水で軽くすすぐをお願いしています。幸い、センターに集まる缶・ペットボトルは比較的きれいで臭いもありません。皆さんの分別意識の高さがうかがえます。

～ごみステーションは町内会で管理していただいています～

町内におよそ600カ所あるごみステーションは、それぞれの町内会・自治会・アパートなどが管理しています。ご自宅から出すごみは町内会などで決められたごみステーションに出しましょう。

また、ごみステーションの修理や更新のための、最大5万円の補助制度があります。町内会・自治会単位でぜひご検討ください。



コンポスト、生ごみ処理機の補助を受付中！ 詳しくは広報5月号5ページをご覧ください。

【問い合わせ】環境生活課環境政策グループ ☎ 73-7511